

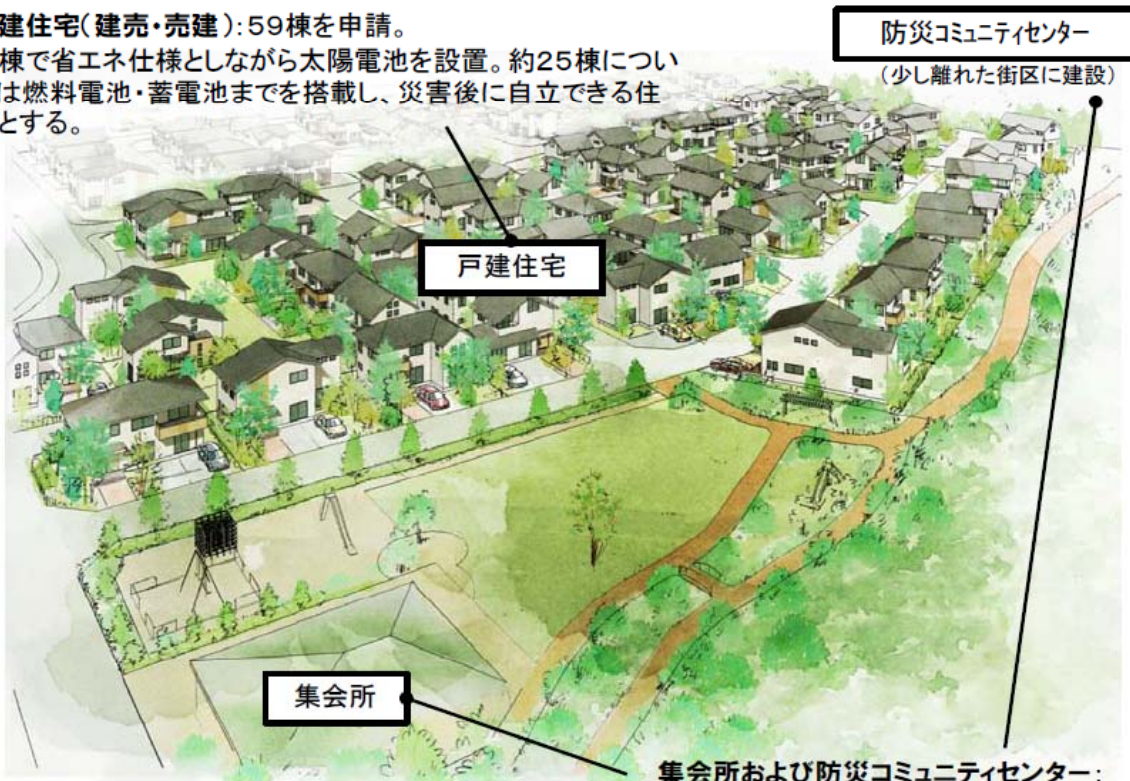
NO 21	省CO2技術を活用した復興モデル分譲地 スマートコモンシティ明石台	積水ハウス株式会社		
提案概要	大規模団地において、高い省CO2効果を持ち、かつ災害に強い戸建住宅と集会所等を建設する。各種省エネ技術と太陽電池・燃料電池・大容量蓄電池を活用することで、日常時に快適で安全・安心に暮らせ、しかも省CO2・節電などの社会的ニーズにも対応できる災害に強いまちづくりを目指す。			
事業概要	部門	新築	建物種別	住宅(戸建住宅)
	建物名称	スマートコモンシティ明石台	所在地	宮城県黒川郡富谷町
	用途	戸建住宅、集会所、防災コミュニティーセンター	延床面積	7,580 m ²
	設計者	積水ハウス株式会社	施工者	積水ハウス株式会社
	事業期間	平成23年度～平成24年度		

概評	省エネ・創エネ技術をバランスよく採用し一定の省エネ性能を確保した住宅を大規模分譲地にまとめて建設する具体性ある計画で、分譲地全体で災害時等にも配慮したまちづくりを目指す点を評価した。
----	---

参考図

戸建住宅(建売・売建):59棟を申請。

全棟で省エネ仕様としながら太陽電池を設置。約25棟については燃料電池・蓄電池までを搭載し、災害後に自立できる住宅とする。



防災コミュニティセンター

(少し離れた街区に建設)

戸建住宅

集会所

集会所および防災コミュニティセンター:

省エネ仕様としながら大容量太陽電池・蓄電池を設置。日常はコミュニティの場として活用。非常時は避難場所かつ団地内の災害対応の本部となる。

街路灯・集会所外構灯:

全てをLED照明とし、大幅な省CO2と節電に貢献する。一部はソーラー・LED照明とし、災害時に備える。